

催吐リスク
中等度
放射線併用なし

【術前療法①】ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌
 キイトルーダ+毎週パクリタキセル+毎週カルボプラチン1.5併用療法 患者プロトコル

投与プロトコル 1コース:21日間 コース数:4回 《開始時基準 PS:0~1、年齢:18歳以上》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	生食 500mL	—	Day1,8,15	—	
①	キイトルーダ:200mg/body 生食 100mL	mg	Day1	30分	
フラッシュ	キイトルーダ投与後にルートキープ用生食でフラッシュ				
プレメディ(内服)	セレスタミン	1錠	Day1,8,15	30分前	
プレメディ(点滴)	5-HT3R拮抗剤+テキサメタゾン+H2R拮抗剤+生食100mL		Day1,8,15	30分	
②	パクリタキセル:80mg/m² 生食 250mL	mg	Day1,8,15	1時間	
③	カルボプラチン:AUC(1.5) 5%ブドウ糖液 250mL	mg	Day1,8,15	1時間	
<p>◆術前療法①を4コース施行後は、 術前療法②として、乳癌-54(キイトルーダ+AC(ドキシフルビシン+エンドキサン))又は乳癌-55(キイトルーダ+EC(エピルビシン+エンドキサン)) 及び術後薬物療法として、キイトルーダ単剤療法に移行する。</p> <p>◆カルボプラチン投与量 = AUC(1.5) × (Cr+25) Cr算出:Cockcroft-Gault式 CCrが125mL/minを超える場合は、125mL/minとして投与量を算出する。</p>					

佐賀大学医学部附属病院